



工藤 正廣
(明政一心会)

持続可能な

循環型農業の構築を

あらゆる機会を捉えて

推進したい

議員 雇用確保には既存の農畜産業を発展させることが近道と思う。そのためにも、農業と環境の調和がとれた循環型農業に取り組むことが必要と考えるが市の考えは。

市長 現在行われている農を軸とした循環型農業社会への取り組みとして耕畜連携が例に挙げられますが、安心・安全な農畜産物の生産のために循環型農業社会の構築が必要であると考えています。

議員 畜産は本市の重要な産業であるが、本県は環境面での規制が厳しく、新規進出や規模拡大がしにくいとの声がある。他市町村を参考に当市でも畜産業を振興促進する環境整備が必要と考えるが。

農林部長 当市は県内でも有数の畜産地域であり、耕畜連携は資源循環型農



畜産振興への対策を

業の大きな役割を担っています。このことから、耕畜連携を一層推進するほか、畜産農家の担い手の育成、飼料自給率の向上等の指導、助言をし、経営感覚にすぐれ、効率的かつ安定的な畜産経営体を育成すること畜産振興を図りたいと考えています。また、八戸市の八戸地域畜産関連産業振興ビジョン検討会議を参考に、同様の検討会議の必要性も含め、調査研究したいと考えています。

議員 既存の畜産業者が生産を拡大できる環境づくりも行政の務めと思う。他市町村では支援金の交付や固定資産税免除などの支援策があるが、当市でもこのような施策を講ずるべきでは。

農林部長 既存の畜産業者が生産拡大を図る際の課題の一つとして環境問題があると考えています。本県では平成二十三年度に環境アセスメントの基準が緩和されましたが、環境基準を遵守した上で畜産業者がみずから生産拡大に向けた環境作りをすることが重要と認識しています。市としても、関係機関や畜産関係者から意見集約するとともに、畜産業者の生産拡大につながる環境整備に努めたいと考えています。

焼山地区活性化計画の進捗状況は

現在実施計画を策定中



舩 甚 英文
(日本共産党)

計画を策定し、六月に公表しました。現在はスキー場中腹の花畑整備を含めた具体的な整備内容やスケジュール等の検討を行い、実施計画を策定中です。今後、機会を捉えて住民説明会を開催し、出された意見の中で事業に取り込めるものについては柔軟に対応したいと考えています。

議員 五人以下の小規模企業を活性化させ、地域を元気にするため、小規模企業振興基本法が施行されたが、これに基づく方策はあるか。

観光商工部長 市では小規模企業等の振興が地域経済の活性化につながることを認識し、小規模企業を含めた事業者に対して運転資金や設備投資資金の融資及び保証料の免除、利子補給等の独自融資制度を設け、幅広く支援しています。また、県内企業の経営相談等に対応している出張相談会が当市でも開催される予定であることが

ら、市内事業者へ周知していきたくと考えています。

議員 当市の住宅リフォーム助成事業の内容と利用状況は。

建設部長 国の制度を活用し、平成二十四年度から主にソーラー発電やエコキュートなどの省エネ、バリアフリー、防災や耐震に係る工事費の一部を補助しています。利用状況は、平成二十四年度は十八件、二十五年度は二十四件です。今年度は十月末現在で十二件、総工事費約五千七百万円に対して二百十七万円を補助しています。



焼山地区の活性化を